事例No.	1732
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	福島県須賀川市

事例区分	公営企業

タグ	・（公営企業）水道事業 ・EBPM ・組織改革

事例種類	経営戦略

事例内容・タイトル

新たな経営戦略

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【福島県須賀川市】
新たな経営戦略（経営戦略の改定）

経営戦略 **水道事業**

福島県須賀川市上下水道部経営課

● 取組の概要

各種事業を確実に実施するため、新たな経営戦略において明確な目標設定を行った。

◆総事業費　委託料12,089千円

◆背景

- 第1期目となる「水道ビジョンすかがわ2020」（計画期間：平成23～令和2年度）を策定し、併せて、中期経営計画として水道ビジョン計画期間を3期に分けたショートプランを策定した。
- ショートプランで具体的な取組及び目標値を設定していたが、達成率は74%となっていた。各施策の未達成となった理由を分析した結果、目標値が曖昧であることから、検討のみや目標値を途中で変更しているものがあった。
- このことから、新たな経営戦略に明確な目標値を設定することとした。

◆具体的内容

- 第2期目となる「水道ビジョンすかがわ2030」（計画期間：令和3～12年度）の策定に合わせて新たな経営戦略を策定した。新たな経営戦略では、計画期間の10年を前後5年間に分け、前期5年プランの検証・評価を行い、改善案を後期プランに反映することとした。
- 給水収益の予測のための「水需要予測」、収益的収支と資本的収支の推計となる「投資・財政計画」、具体的取組の詳細な実施スケジュールと明確な目標値を設定した「施策実施プラン」で構成した。

◆効果

- 「水道ビジョンすかがわ2030」 の目標達成に向けた具体的な取組について、「何を」「いつまで」「どこまで」が「見える化」され、計画的な事業実施を行うことが可能になった。
- 各施策実施期間の費用配分に基づく財政計画により、収益費用の見通しと水道料金改定の目標時期等を明確化し、水道使用者の理解が深められる情報発信が可能になった。

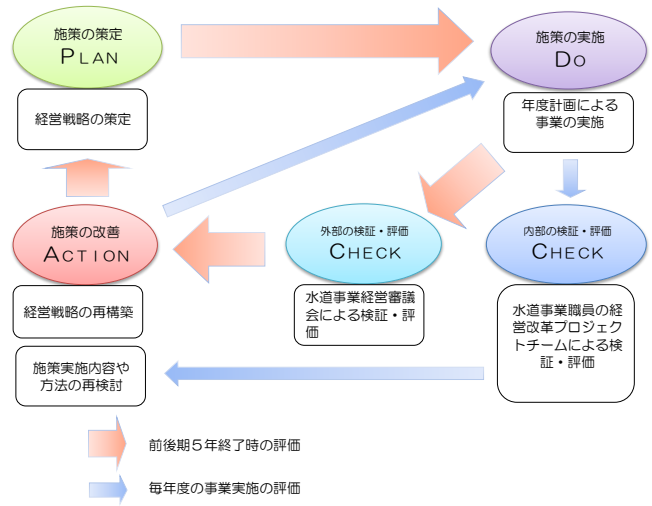
● 取組のポイント

- 進捗管理及び評価を行うため、事業評価シートを作成した。
- 10年間の目標は変更しないこととし、前期5年プランの年度ごとに実施する内容を設定することで、単年度ごとの事業内容がより明確となった。
- 単年度ごとに事業内容を設定し、内部職員による「経営改革プロジェクトチーム」が検証・評価を行うことで、PDCAサイクルに基づくプランとした。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　75,123 人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　279.43km²（令和4年1月1日時点）
- 給水人口　67,473人（令和3年度決算）

PDCAサイクルイメージ



● 取組のスケジュール

- 令和元年9月に検討を開始。
- 令和3年3月に策定。
- 令和3年4月から計画に基づいた事業を開始。

● 今後の展望

- 経営改革プロジェクトチームによる、事業評価シートを活用した事業進捗管理及び評価を実施し、水道ビジョンの目標達成を目指す。
- 今後、前期5年プランの検証・評価を踏まえ、後期5年プランを策定する。